熊谷市個別施設計画

河川等管理施設編



令和２年３月
（令和３年３月 改定）

はじめに

現在、全国的に人口減少や少子高齢化が進行しており、本市もまた例外ではありません。これら社会情勢の変化は、産業・経済、社会保障、地域コミュニティ、社会資本の維持・更新等といった様々な分野で、将来の行政運営に大きな影響を及ぼすことが予想されます。そこで、本市は「熊谷市総合戦略」に基づき、人口増加施策や子育て支援施策などを拡充し、全力で取り組んでいるところです。

また、社会資本としての公共施設やインフラの維持・更新等といった公共施設マネジメントに関しましては、平成２７年３月に「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」を、平成２９年４月にはさらにこの下位計画として「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本計画」を策定し、計画的なインフラの更新、統廃合や、より詳細な実施基準や今後の検討の枠組みを定めました。令和３年３月には、これらを併せて「熊谷市公共施設等総合管理計画」として一体の計画として改定しました。

このたび、この総合管理計画を踏まえ、具体的な各施設の今後について、施設分野別の個別施設計画の策定を行い、安心・安全の確保、及び維持管理費、更新費の削減や予算の平準化等を図ることを目的としております。

市民の皆様と市が情報・問題意識を共有しながら、私たちの熊谷市を更に魅力あるまちとすることを目指してまいりたいと考えております。基本方針・基本計画とこの個別施設計画が、将来の世代にも関わる百年の計ともいうべき本市の公共施設マネジメントの拠り所となり、市民の皆様が本市の今後の生活基盤・社会基盤のあるべき姿を考える際の一助となれば、幸いに存じます。

令和３年３月　　熊谷市長　富　岡　　清

目　次

第１章　個別施設計画策定の目的とその位置付け　・・・・・・・・・・・　-１-
　第１節　個別施設計画策定の目的　・・・・・・・・・・・・・・・・・　-１-
　第２節　個別施設計画の位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・　-１-
　　１　個別施設計画全体の位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・　-１-
　　２　この個別施設計画の位置付け　・・・・・・・・・・・・・・・・　-２-
第２章　個別施設計画の対象施設及び計画期間　・・・・・・・・・・・・　-３-
　第１節　対象施設の一覧表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３-
　　１　対象施設の一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３-
　　２　対象施設の配置　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-４-
　第２節　計画期間　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-８-
第３章　個別施設計画概要書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-８-
　第１節　個別施設の状態　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-８-
　第２節　個別施設計画概要書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-８-
　　１　準用河川　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-９-
　　２　排水機場　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-１０-
　　３　調節池　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-１９-
　　４　排水路等　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-２０-
　　５　調整池　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-２９-
第４章　今後の対応方針　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３０-
　第１節　計画の進捗管理の方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３０-
　第２節　計画の改定に関する考え方　・・・・・・・・・・・・・・・　-３０-
　第３節　計画の実施体制　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３０-
　第４節　予算への反映方法　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　-３１-

第１章　個別施設計画策定の目的とその位置付け

「熊谷市個別施設計画」（以下、「個別施設計画」と表記します。）は、本市が保有又は管理をするインフラを含む公共施設に関し、国が定めたインフラ長寿命化基本計画等の指針にしたがって個別施設ごとに今後の方針についてまとめたものです。

具体的には、２０１５（平成２７）年３月に策定された「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本方針」（以下、「基本方針」と表記します。）及び２０１７（平成２９）年４月に策定された「熊谷市公共施設アセットマネジメント基本計画」（以下、「基本計画」と表記します。）、並びに２０２１（令和３）年３月に基本方針及び基本計画を一体の計画として改定した「熊谷市公共施設等総合管理計画」（以下、「総合管理計画」と表記します。）において定めた方針・基準・指針の下で個別施設の具体的方針をまとめたものになります。

第１節　個別施設計画策定の目的

個別施設計画は、本市の公共施設が今後大量一斉更新を迎えることとなる状況を踏まえ、今後の人口減少等に伴う税収減（収入の減少）と高齢化の進行等による社会保障費の増大（支出の増加）といった環境の変化を見据えながら、個別施設ごとの具体的な方針を定めることを目的とします。

検討に当たっては、それぞれの施設（建物）の老朽化の状況（ハードの状況）と提供している住民サービスの状況（ソフトの状況）の両面に着目し、施設（建物）の方針（対象施設の統廃合、建物の存続等をどうするか）と機能の方針（提供している住民サービスをどうするか）について具体的に定めることとします。

第２節　個別施設計画の位置付け

１　個別施設計画全体の位置付け

個別施設計画は、総合管理計画の下位計画として位置付けられ（図表 1-2-1 参照）、本市の公共施設マネジメントを推進していくため、施設分野別に策定するものです。

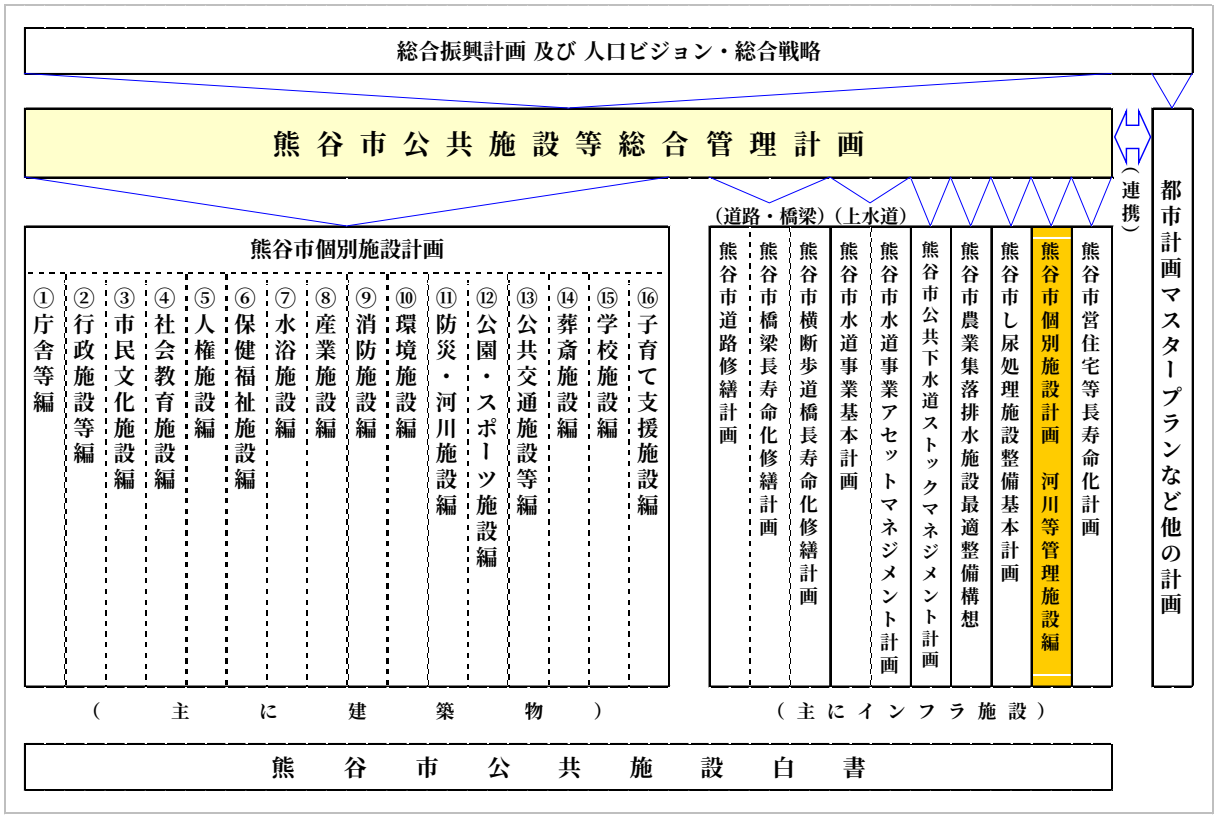
総合管理計画は、主に建築物を対象とし施設の分野ごとに策定された熊谷市個別施設計画と、主にインフラ施設を対象とした個別の修繕計画やマネジメント計画で構成されており、本計画は後者に位置付けられています。

2　この個別施設計画の位置付け

個別施設計画は、おおむね施設分野別に策定しています。

この「熊谷市個別施設計画　河川等管理施設編」は、「河川等管理施設」を対象としています。

【図表1－2－1】　熊谷市の公共施設マネジメントの体系



第２章　個別施設計画の対象施設及び計画期間

個別施設計画は、総合管理計画で定めた施設分野別に策定しています。この章では、対象施設の一覧及び、総合管理計画を踏まえた計画期間の考え方について整理します。

第１節　対象施設の一覧表

本計画は、２０１９（令和元）年度末時点で本市が保有又は管理をする施設を対象とします。

１　対象施設の一覧

河川等管理施設とは、準用河川、排水機場、調節池、排水路等、調整池などの、治水・利水・環境の機能を担う施設です。

※今改定で図表 2-1-3 の対象施設を追加。

本計画で対象とする施設の一覧は、図表 2-1-1 及び 図表２-１-３のとおりです。なお、排水路については、代表施設としております。

【図表 2-1-1】対象施設一覧

準用河川

№	施設名称
①	新奈良川
②	新星川

排水機場

№	施設名称
⑴	新奈良川排水機場
⑵	旧福川排水機場

調節池

№	施設名称
㋐	新奈良川第１調節池
㋑	新奈良川第２調節池
㋒	新奈良川第３調節池

排水路

№	施設名称
❶	上川上（三面）
❷	新堀（三面）
❸	三ヶ尻（三面）
❹	久下（三面）
❺	津田（三面）

№	施設名称
❻	旧福川
❼	柿沼（柵渠）
❽	新堀（柵渠）
❾	千代（柵渠）

調整池

№	施設名称
[1]	ことぶき団地調整池
[2]	上之調整池
[3]	熊谷ハイタウン調整池
[4]	村岡調整池
[5]	グリーンタウン遊水池
[6]	原島貯水池
[7]	熊谷流通センター調整池
[8]	今井貯水池
[9]	肥塚土地区画整理調整池
[10]	久保島第二団地貯水池
[11]	船木台第一調整池
[12]	船木台第二調整池

№	施設名称
[13]	船木台第三調整池
[14]	江南調整池（北）
[15]	江南調整池（南）
[16]	妻沼南団地調整池
[17]	西城台調整池
[18]	江波台調整池
[19]	上須戸ハイツ調整池
[20]	日向団地調整池
[21]	葛和田団地調整池１
[22]	葛和田団地調整池２
[23]	葛和田団地調整池３
[24]	北武蔵団地調整池

２　対象施設の配置

本計画で対象とする施設の市内における配置は、図表 2-1-2 及び 図表２-１-４のとおりです。図表中の番号は、図表 2-1-1 及び 図表２-１-３の整理番号（No.）に対応しています。

【図表 2-1-2】施設配置状況（準用河川等）



【図表 2-1-3】対象施設一覧

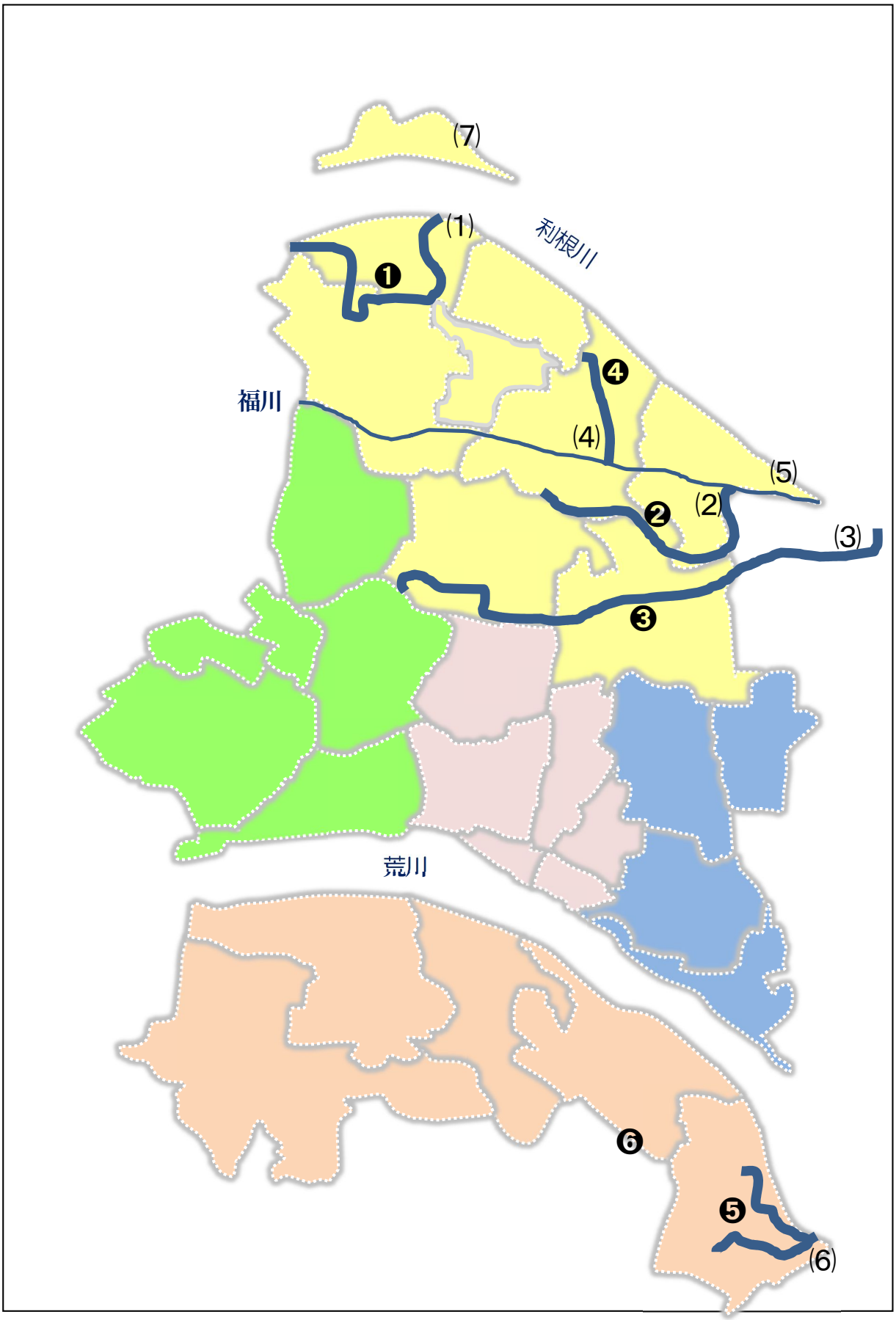
排水機場

№	施設名称
(1)	男沼排水機場
(2)	奈良川排水機場
(3)	さすなべ排水機場
(4)	道閑堀排水機場
(5)	俵瀬排水機場
(6)	豊廼排水機場
(7)	妻沼小島排水機場

排水路等

№	施設名称
❶	男沼排水路（男沼門樋悪水路）
❷	奈良川排水路
❸	さすなべ排水路
❹	道閑堀排水路（秦地区幹線第一種排水路含む）
❺	豊廼幹線排水路
❻	真栄堰

【図表 2-1-4】施設配置状況（農業水利施設）



第２節　計画期間

本計画は、２０２０（令和２）年度から２０２９（令和１１）年度までの１０年間を対象とします。

基本方針では２０１５（平成２７）年度から２０５４（令和３６）年度までの４０年間を対象としていますが、本計画では今後１０年間について具体的な対策内容及び対策時期を記載します。

第３章　個別施設計画概要書

この章では、対象施設の個別施設計画概要書を記載します。

第１節　個別施設の状態

各施設の部位毎に、チェックシートを用いて評価を行い、整備補修の緊急度を決定します。

なお、評価点に応じて緊急度を以下の４段階に区分します。

（評価点と緊急度の関係）

評価点	緊急度	左の内容
6	緊急度重大(S1)	機能低下が著しく、早急に整備補修を要するもの
4	緊急度　大(S2)	機能低下が見られ、整備補修の検討を要するもの
2	緊急度　中(S3)	経年的な機能低下傾向にあり、計画的な整備補修の検討を要するもの
0	緊急度　小(S4)	運用上支障はないが機能低下の兆候も出てきており、経過の観察を要するもの

第２節　個別施設計画概要書

対象施設の個別施設計画概要書を記載します。

対策の優先順位の考え方については、個別施設概要書・個別施設計画の「保全対策の方針」にて記載しています。

1　準用河川

様式

個別施設概要書･個別施設計画

施設現況	施設名称	施設管理者	計画期間
	準用河川	熊谷市	2020年～2029年 (令和2年～11年)
	構造等 規格･規模	･準用河川新奈良川　延長 L=5,515m （整備済 L=5,515m） 掘込河道 ･準用河川新星川　延長 L=2,406m （整備済 L=1,488m） 掘込河道	
機能診断調査	文献等の調査	（経過年数やこれまでの補修履歴、日常管理の内容等を記載する。） ･隔週での定期パトロールを実施している。 ･市民等からの連絡により、その都度、現場確認を実施している。 ･除草、浚渫については、管理業務委託を実施している。 ･軽微な損傷については、その都度、補修を行っている。 ･未整備部分については、早期用地買収等の業務を進めている。	
	現地の調査	（目視調査、ひび割れ調査等の内容及び結果を記載する。） ･汚泥の堆積が見られる。 ･布団かごの劣化、破損が見られる。 ･未整備部分の木柵土留め板の劣化が見られる。 ･防護柵の破損が見られる。	
機能診断評価	劣化の要因	（劣化が認められる箇所について、どのような要因が考えられるか推測する。） ･布団かごについては、経年変化によるものや除草の際に破損したものと考えられる。 ･木柵土留め板の劣化については、経年変化によるものと考えられる。	
	健全度の評価	（診断箇所毎に、評価結果を記載する。）　評価根拠　(･簡易評価)　･機能診断調査 ･経年変化による軽微な変状は見られるものの機能上の支障はないが、このまま放置を続けると、機能に支障が出ることが考えられる。…S3	
保全対策の方針	基本方針	･目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。	
	管理水準	･コンクリートのひび割れやずれ、沈下を進行させない。 ･法面の欠損を進行させない。 ･流下に支障をきたさない。	
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	（対策を選定した理由についても記載する。） ･維持管理業務 流下に支障をきたさないよう、計画的に除草を実施する。 流下に支障をきたさないよう、計画的に浚渫を実施する。 ･補修 法面の布団かごが欠損しているので、計画的に補修を実施する。 木柵土留め板が劣化している箇所は、計画的に補修を実施する。	

令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草
浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫
補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修

	対策費用	（対策費用を工種別に記載する。計画期間内に要する対策費用の合計についても記載する。） ･維持管理費：除草　1式　160，000千円⇒毎年の10年分 浚渫　1式　120，000千円⇒毎年の10年分 ･補修費：布団かご補修　1式　3，000千円 その他修繕費　1式　21，000千円⇒毎年の10年分 【10年間に要する対策費用：　304，000千円】
	今後の監視計画	（今後、監視を行う定点、監視の頻度、本計画の見直し時期について記載する。） ･今後も、隔週での定期パトロールを実施し、変状を把握する。 ･市民からの連絡により、その都度、現地確認を実施する。 ･今後、点検結果によっては専門業者による詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。

2　排水機場

様式

個別施設概要書･個別施設計画

						策定年月日	
施設現況	施設名称	造成工期		流域面積	造成事業	施設管理者	計画期間
	新奈良川 排水機場	着工 1998	完成 2003	km^2 10.98	準用河川改修事業	熊谷市	2020年～2029年 (R2年～R11年)
	構造等 規格･規模	建屋: 鉄筋コンクリート造2階建 吸水槽･吐出水槽･樋門･樋管: RC造 排水路: 鉄筋コンクリート造 ポンプ設備: 立軸軸流ポンプ 1500㎜ x 2基、ディーゼルエンジン310ps x 2基、電動蝶型弁1500㎜ x 2基 管内クーラ 1500㎜ x 2基、自動除塵機 x 2基					
機能診断調査	文献等の調査	･供用開始後16年経過 ･毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。 ･補機等耐用年数の少ない機器については適切に更新等を実施している。 ･定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。					
	現地の調査	･建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な変状のみである。 ･施設機械設備 … 冷却用ポンプ(水中)は更新済、エンジンは点検整備及びオイル交換を完了済。 ･水管理制御設備 … 情報処理系の装置が故障しており、データ構築及び出力ができない状態である。 ･除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。					
機能診断評価	劣化の要因	･建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考) 標準耐用年数:45年 ･施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考) 標準耐用年数:20年 ･水管理制御設備 … 経年変化による。参考) 標準耐用年数:10年					
	健全度の評価	評価根拠 ･簡易評価 ･機能診断調査 ･建屋、土木施設 … S3 経年変化による軽微な変状は見られるが構造上の支障はないと考えられる。 ･施設機械設備(排水機、電気設備、ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関)、除塵設備 … S3 経年変化による変状が一部の機器に見られるが排水機場機能としての支障はないと考えられる。 ･水管理制御設備: S1 部品の生産中止が進む情報処理系設備の保守に支障をきたしている。一部機能故障中。					
保全対策の方針	基本方針	･建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。 ･施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し、予防保全的な整備補修を検討する。 ･水管理制御設備 … 標準耐用年数を超過していることから、保守対応限界を確認し、対応を検討する。					
	管理水準	･建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。 ･施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を超過させない。 ･水管理制御設備 … 保守対応の限界を超過させない。					
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	･建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。 ･施設機械設備、除塵設備 … ポンプの軸受交換及びエンジン整備を計画的に行って機能を維持する。 また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。 ･水管理制御設備 … 保守対応の限界が近く、機器更新を早急に検討する。 ※ 年次点検 1,500千円/年(別)						
		R2 H32 (2020)	R3 H33 (2021)	R4 H34 (2022)	R5 H35 (2023)	R6 H36 (2024)	R7 H37 (2025)	R8 H38 (2026)	R9 H39 (2027)	R10 H40 (2028)	R11 H41 (2029)
			水管理制御設備 ｼｽﾃﾑ整備 76,000千円/式 (69,000*1.1)		施設機械設備 ①ｴﾝｼﾞﾝF点検 14,000千円/基 (12,568*1.1)	施設機械設備 機械電気部品交換 2,000千円/式 (1,300)		施設機械設備 ②ｴﾝｼﾞﾝF点検 14,000千円/基 (12,568*1.1)		施設機械設備 主ｷﾞｬﾌﾟ軸受交換 40,000千円/式 (20,000*2)	
		年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検
	対策費用	※ 下記は過去の実績額や見積額を用いた概算値。端数分は100万円単位に切り上げている ･建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 : 28,000千円/式(他実績) ⇒ 未計上(適宜) ･施設機械設備 … エンジンF点検整備費 : 12,568千円/基(既設メーカー見積税抜額) ⇒ E点検4年後 機械電気部品交換費 : 1,300千円/式(本実績) ⇒ 前回より10年後 主ポンプ軸受交換費 : 20,000千円/基(他実績) ⇒ 造成後30年後 年次点検費 : 20,000千円/10年分(本実績)⇒ 毎年の10年分 ･除塵設備 … 修繕費 : 1式 1,890千円/式(本実績) ⇒ 未計上(適宜) ･水管理制御設備 … システム整備等 : 69,000千円/式 (既設システムメーカー見積税抜額) 【10年間に要する対策費用: 166,000千円(未計上分含まず)】						
	今後の監視計画	･定点を以下の通り設定し、年次点検を行い変状を把握する(年8回)。 建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤(目視) 施設機械設備、除塵設備、水管理制御設備 … ポンプ･エンジン･除塵機･操作システム(運転状況) ･点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。 なお、変状がない場合においては、検討期間 の半分である5年後(令和6年度)に見直しを行う。						

様式

個別施設概要書･個別施設計画

策定年月日

	施設名称	造成工期 着工	造成工期 完成	流域面積	造成事業	施設管理者	計画期間
施設現況	旧福川排水機場	1983	1985	2.1 km²	県費単独局部低地対策 内水位排除事業	熊谷市	2020年～2029年 (R2年～R11年)
施設現況	構造等 規格･規模	建屋: 鉄骨造1階建 吸水槽･吐出水槽･樋門･樋管: RC造 排水路: コンクリートブロック張 ポンプ設備: 横軸斜流ポンプ Φ700㎜ x 2基、ディーゼルエンジン 80ps x 2基、電動蝶型弁 700㎜ x 2基 自動除塵機x1基					
機能診断調査	文献等の調査	･供用開始後34年経過 ･毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。 ･補機等耐用年数の少ない機器については、適切に更新等を実施している。 ･定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。					
機能診断調査	現地の調査	･建屋 … 梁、柱(鉄骨)に発錆が見られるが、構造的に影響の無い軽微な変状のみである。 ･土木施設 … ひび割れや摩耗が見られるが、構造的に影響の無い軽微な変状のみである。 ･施設機械設備 … 補機類は更新済、エンジンは点検整備及びオイル交換を完了済。 ･除塵設備 … 全体的に塗装剥げや発錆が認められる。可搬式ベルトコンベアが不調である。					
機能診断評価	劣化の要因	･建屋、土木施設 … 経年変化のほか、コンクリート構造物については乾燥収縮･温度変化、地盤の沈下等の影響が考えられる。参考) 標準耐用年数:45年 ･施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。 参考) 標準耐用年数:20年					
機能診断評価	健全度の評価	評価根拠 ･簡易評価 ･機能診断調査 ･建屋、土木施設 … S3 経年変化による軽微な変状は見られるが、構造上の支障はないと考えられる。 ･施設機械設備(排水機、電気設備、ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関)、除塵設備 … S2 経年変化による変状が一部の機器に見られるが、排水機場機能としての支障はないと考えられる。 ただし、電気機器については、標準耐用年数を超過しており、修理部品の生産中止等が懸念される。					
保全対策の方針	基本方針	･建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。 ･施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し、予防保全的な整備補修を検討する。					
保全対策の方針	管理水準	･建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。 ･施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を超過させない。					
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	･建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。 ･施設機械設備、除塵設備 … ポンプのパッキン等の部品については適時交換する。その他、特注品や現時点で製造中止の型番が多いことから、供給が可能なうちに、部品交換を早期に実施して機能の長期維持を図る。 ※ 年次点検 1,500千円/年(別)					

R2 H32 (2020)	R3 H33 (2021)	R4 H34 (2022)	R5 H35 (2023)	R6 H36 (2024)	R7 H37 (2025)	R8 H38 (2026)	R9 H39 (2027)	R10 H40 (2028)	R11 H41 (2029)
施設機械設備 ①ｴﾝｼﾞﾝF点検 9,500千円/基 (8,487*1.1)		施設機械設備 操作盤更新 10,000千円/式	施設機械設備 ②ｴﾝｼﾞﾝF点検 9,500千円/基 (8,487*1.1)	施設機械設備 自家発電設備更新 10,000千円/式	施設機械設備 ①主ﾎﾟﾝﾌﾟ回転体交換 7,500千円/基	施設機械設備 機械電気部品交換 500千円/式 (456)	施設機械設備 ②主ﾎﾟﾝﾌﾟ回転体交換 7,500千円/基	除塵設備 除塵機更新 33,000千円/式	
年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検	年次点検

機能保全対策	対策費用	※ 下記は過去の実績額や見積額を用いた概算値。端数分は100万円単位に切り上げている ･建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 : 14,000千円/式(他実績) ⇒ 未計上(適宜) ･施設機械設備 … エンジンF点検整備費 : 8,487千円/基(管理業者見積税抜額) ⇒ 分解点検履歴無 操作盤更新費 : 10,000千円/式(他実績) ⇒ 更新履歴無 機械電気部品交換費 :456千円/式(本実績) ⇒ 前回より概ね10年後 自家発電設備更新費 : 10,000千円/式(他実績) ⇒ 更新履歴無 主ポンプ回転体交換費 : 7,500千円/基(他実績) ⇒ 造成後40年後 年次点検費 : 15,000千円/10年分(本実績)⇒ 毎年の10年分 ･除塵設備 … 更新費 : 1式 33,000千円/式(他実績) ⇒ 造成後約45年後 【10年間に要する対策費用: 102,500千円(未計上分含まず)】
機能保全対策	今後の監視計画	･定点を以下の通り設定し、年次点検を行い変状を把握する(年8回)。 建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤(目視) 施設機械設備、除塵設備、水管理制御設備 … ポンプ･エンジン･除塵機(運転状況) ･点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。 なお、変状がない場合においては、検討期間 の半分である5年後(令和6年度)に見直しを行う。

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">男沼排水機場</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営かんがい排水事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>1973</td><td>1980</td><td>488</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋：鉄骨構造半2床式
吸水槽・吐水槽・樋管：RC造
ポンプ設備：横軸斜流ポンプ 1350㎜x2台
原動機：ディーゼル機関 240psx2台
逆止ゲート：鋼製ローラーゲート B2600㎜xH3200㎜x1基
除塵機：B4200㎜xH3500㎜x2基</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後40年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・H21年度井戸掘削、水中ポンプ設置。
・H24年度 2号エンジン点検整備済（適正化事業）。
・H25年度 建屋再塗装及び土木設備補修済（ストマネ事業）。
・H25年度 2号ポンプ補修、自家発電機更新、補機更新済（ストマネ事業）。
・H26年度堤内ゲート開閉装置更新及び扉体補修済（ストマネ事業）。
・H26年度水位監視システム修繕済。
・H27年度 1号ポンプ補修、1号エンジン更新、除塵機再塗装済（ストマネ事業）。
・H27年度除塵機操作盤更新済。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 再塗装及び補修済。
・施設機械設備 …主要設備は更新または整備済。
・除塵設備 … 主要設備は更新または整備済。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・電気設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：15年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
・建屋、土木施設 … S-2　補修済であるが一部に軽微な変状が見られるので注視が必要になると考えられる。
・施設機械設備（排水機、ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関、除塵機）…S-3　更新又は整備の完了していない機器については早急に対策が必要になると考えられる。
・電気設備 …S-2、部品の生産中止や陳腐化が進み設備の信頼性が落ちている。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し予防保全的な整備補修を検討する。
・電気設備 … 標準耐用年数を超過していることから保守対応限界を確認し対応を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した保守管理を行う。
・電気設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,500千円/年（別）
R3(2021)：施設機械整備等 20,500千円
R4(2022)：建屋土木補修 500千円
R5(2023)：
R6(2024)：制御盤整備 1,000千円
R7(2025)：水中ポンプ更新 3,500千円
R8(2026)：
R9(2027)：制御盤整備 1,000千円
R10(2028)：2号エンジン整備 8,000千円
R11(2029)：施設機械整備 8,000千円
R12(2030)：制御盤整備 1,000千円</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ： 500千円/式
・施設機械設備 …… 制御盤整備費 ： 1,000x4=4,000千円/式、直流電源盤更新費 ： 5,000千円/式、除塵機整備費 ： 9,500千円/式、屋外操作盤更新費 ： 5,000千円/式
水中ポンプ更新費 ： 3,500千円/式、2号エンジン整備費 ： 8,000千円/式
自家発整備費 ： 3,500千円/式、2号主ポンプ整備費 ： 4,500千円/式
年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績）【10年間に要する対策費用：58,500千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回)
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
施設機械設備 … ポンプ・エンジン・除塵機・操作システム（簡易計測）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間　の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="2">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td>奈良川排水機場</td><td>着工
1977</td><td>完成
1979</td><td>ha
592</td><td>県営かんがい排水事業
奈良川地区</td><td>熊谷市</td><td>2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td></td><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋：鉄骨造2床式
吸水槽・吐水槽・樋門・樋管：RC造
ポンプ設備：横軸斜流ポンプ 1500㎜x2台
原動機：ディーゼル機関 450ｐｓx2台
堤外ゲート：B3000㎜xH2500㎜x2基　堤内ゲート：B6600xH2500㎜x1基
除塵機：B4500㎜xH4150㎜x2基
管理設備：水管理制御設備x1式</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後40年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。
・H21年度取水井戸改修及び水中ポンプ設置済。
・H22年度自家発起動用蓄電池更新済。
・H28年度2号除塵機チェーン更新済（ストマネ事業）。
・H29年度 1、2号エンジン更新、1,2号ポンプ分解整備済（ストマネ事業）。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な変状のみである。
・施設機械設備 …適切に更新等を実施している。
・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。
※簡易診断時は工事作業中のため調査作業ができない状況であった。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・水管理制御設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：10年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　（・簡易評価）　・機能診断調査
・建屋、土木施設 …工事作業中につき評価作業不可
・施設機械設備（排水機、電気設備、ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関、除塵設備） … 工事作業中につき評価作業不可</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・水管理制御設備 … 標準耐用年数を超過していることから保守対応限界を確認し対応を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・水管理制御設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td>機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,500千円/年（別）</td></tr>
<tr><td colspan="8">
<table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td><td>←→</td></tr>
<tr><td>施設機械
整備等
52,900
千円</td><td>建屋、土木
補修、他
5,500千円</td><td>塵芥処理
500千円</td><td>制御盤整備
塵芥処理
2,000千円</td><td>塵芥処理
500千円</td><td>塵芥処理
500千円</td><td>制御盤整備
塵芥処理
2,000千円</td><td>水中ポンプ
更新、他
4、000千円</td><td>塵芥処理
500千円</td><td>制御盤整備
塵芥処理
2,000千円</td></tr>
</table>
・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ： 5,000千円/式
・施設機械設備 …… 自家更新費 ： 15,000千円/式、空気圧縮機更新費 ： 1,300千円/式
真空ポンプ更新費 ： 6,000千円/式、制御盤整備費 ： 1,500x4=6,000千円/式
除塵機整備費 ： 15,300千円/式、ゲート整備費 ： 13,300千円/式
水中ポンプ更新費 ： 3,500千円/式
・その他 …… 塵芥処理費 ：500x10=5,000千円/10年　年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績）
【10年間に要する対策費用：85,400千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回)
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
施設機械設備 … ポンプ・エンジン・除塵機・操作システム（簡易計測）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間　の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

施設現況	施設名称	造成工期		受益面積	造成事業	施設管理者	計画期間
	さすなべ排水機場	着工	完成	ha	県営かんがい排水事業 奈良川地区	熊谷市	2021年～2030年 (R3年～R12年)
		1977	1990	600			
	構造等 規格・規模	建屋： SRC造2床式 吸水槽・吐水槽・樋門・樋管： RC造 ポンプ設備：立軸斜流ポンプ 500㎜x1台、1000㎜x1台、1200㎜x2台 原動機：電動機 45kwx1台、ディーゼル機関 290psx1台、330psx2台 堤内ゲート：B3000㎜xH3000㎜x1基 除塵機：B2000㎜xH5000㎜x1基、B3000㎜xH5000㎜x1基、B3600㎜xH5000㎜x2基 管理設備：水管理制御設備x1式					
機能診断調査	文献等の調査	・供用開始後30年経過 ・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。 ・H21年度 2号エンジン点検整備済(適正化事業)。 ・H22年度水位遠方監視システム設置。 ・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。					
	現地の調査	・建屋、土木施設 … 遊水池の腐食が著しい、土木施設はクラックや鉄筋の露出がある。 ・施設機械設備 …蓄電池設備及び整流器更新時期超過。 ・水管理制御設備 … 標準耐用年数を超過している。 ・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。 ※簡易診断時は工事作業中のため調査作業ができない状況であった。					
機能診断評価	劣化の要因	・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年 ・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年 ・水管理制御設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：10年					
	健全度の評価	評価根拠 ・簡易評価 ・機能診断調査 ・建屋、土木施設 … S-2 補修済であるが一部に軽微な変状が見られるので注視が必要になると考えられる。 ・施設機械設備（電気設備、ディーゼル機関） … 工事作業中につき評価作業不可 ・施設機械設備（排水機、除塵設備） … S-3 経年変化による変状が見られる					
保全対策の方針	基本方針	・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。 ・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した保守管理を行う。 ・水管理制御設備 … 標準耐用年数を超過していることから保守対応限界を確認し対応を検討する。					
	管理水準	・建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。 ・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した保守管理を行う。 ・水管理制御設備 … 保守対応限界を超過させない。					
機能保全対策	対策工法及び対策時期	・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。 ・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。 また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。 ※ 年次点検1,500千円/年（別）					
		R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
		←→ 施設機械整備 412,600千円	←→ 塵芥処理 400千円	←→ 建屋土木補修 5,000千円	←→ 制御盤整備 1,500千円	←→ 1号エンジン整備 水路浚渫 8,150千円	←→ 空気圧縮機更新 1,300千円
		R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)		
		←→ 制御盤整備 1,500千円			←→ 制御盤整備 1,500千円		
	対策費用	・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ： 5,000千円/式 ・施設機械設備 …… 主ポンプ4台整備費 ： 322,900千円/式、1,3号エンジン整備費 ： 16,000千円/式、 主電動機整備費 ： 4,840千円/式、自家発整備費 ： 14,560千円/式 水中ポンプ更新費 ： 3,500千円/式、2号空気圧縮機更新費 ： 1,300千円/式 制御盤整備費 ： 1,500x4＝6,000千円/式、直流電源盤更新費 ： 5,000千円/式 除塵機整備費 ： 28,500千円/式、ゲート整備費 ： 14,500千円/式 2号エンジン整備費 ：8,000千円/式、1号空気圧縮機更新費 ： 1,300千円/式 ・その他 …… 塵芥処理、水路浚渫費 ： 550千円 年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績） 【10年間に要する対策費用：446,950千円】					
	今後の監視計画	・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回) 建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視） 施設機械設備 … ポンプ・エンジン・除塵機・操作システム（簡易計測） ・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。 なお、変状がない場合においては、検討期間 の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。					

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="2">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td>道閑堀排水機場</td><td>着工
1985</td><td>完成
1992</td><td>ha
490</td><td>県営かんがい排水事業
道閑堀地区</td><td>熊谷市</td><td>2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td></td><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋：鉄筋コンクリート造1床式
吸水槽・吐水槽・樋門・樋管：RC造
ポンプ設備：横軸斜流ポンプ 2000㎜x1台、横軸斜流ポンプ 1650㎜x2台
原動機：ディーゼル機関 650ｐｓx1台、430psx2台
制水ゲート：B2750㎜xH2750㎜x2基　切替ゲート：B5850㎜xH2750㎜x1基
除塵機：B6000㎜xH5650㎜x1基、B4950㎜xH4600㎜x2基</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後28年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・H20年度1号エンジン点検整備済。
・H23年度自家発蓄電池更新済（県単事業）。
・補機等耐用年数の少ない機器については適切に更新等を実施している。
・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な変状が見られる。
・施設機械設備 …ポンプ設備分解整備及び部品交換時期に差し掛かっている。
整流器更新時期超過。切替ゲート過負荷のため電動操作不可。
・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・電気設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：15年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
・建屋、土木施設 … S-3 経年変化による変状が見られる個所については補修整備等の対策が必要になると考えられる。
・施設機械設備（排水機、除塵設備）… S-3 、（ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関）…S-4
経年変化による変状が一部の機器に見られるので対策を講じる必要があると考えられる。
・電気機器 … S-2 電気機器については、標準耐用年数を超過しており、修理部品の陳腐化等が懸念される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し予防保全的な整備補修を検討する。
・電気設備 … 標準耐用年数を超過していることから保守対応限界を確認し対応を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した保守管理を行う。
・電気設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,500千円/年（別）</td></tr>
<tr><td colspan="6"><table>
<tr><th>R3
(2021)</th><th>R4
(2022)</th><th>R5
(2023)</th><th>R6
(2024)</th><th>R7
(2025)</th><th>R8
(2026)</th><th>R9
(2027)</th><th>R10
(2028)</th><th>R11
(2029)</th><th>R12
(2030)</th></tr>
<tr><td>←→
施設機械整備等
80,000千円</td><td>←→
建屋土木補修
3,000千円</td><td></td><td>←→
1号エンジン再整備
制御盤整備
9,500千円</td><td>←→
塵芥処理
500千円</td><td></td><td>←→
制御盤整備
1,500千円</td><td></td><td></td><td>←→
制御盤整備
1,500千円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ： 3,000千円/式
・施設機械設備 …… 主ポンプ3台整備費 ： 15,000千円/式、2、3号エンジン整備費 ： 16,000千円/式
自家発整備費 ： 3,500千円/式、真空ポンプ更新費 ： 6,000千円/式
制御盤整備費 ： 1,500x4=6,000千円/式、除塵機整備費 ： 19,700千円/式
ゲート整備費 ： 18,300千円/式、1号エンジン整備費 ： 8,000千円/式
・その他 …… 塵芥処理費 ： 500千円　年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績）
【10年間に要する対策費用：111,000千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回)
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
施設機械設備 … ポンプ・エンジン・除塵機・操作システム（簡易計測）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間　の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">俵瀬排水機場</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営畑地帯総合整備事業
秦地区</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>1987</td><td>1996</td><td>146</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋：RC造
吸水槽・吐水槽・樋門・樋管：RC造
ポンプ設備：横軸斜流ポンプ 800㎜x2台
原動機：ディーゼル機関 120psx2台
川面ゲート：B2000㎜xH1200㎜x1基　吐出ゲート：B2000㎜xH1200㎜x1基
除塵機：B2400㎜xH3200㎜x2基</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後23年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・H25年に度自家発用蓄電池＆整流器更新済（県単事業）。
・補機等耐用年数の少ない機器については適切に更新等を実施している。
・H30年度 1号エンジン分解整備済（適正化事業）。
・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な変状のみである。
・施設機械設備 …適切に更新等を実施している。
・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・電気設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：15年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　（・簡易評価）　・機能診断調査
・建屋、土木施設 … S-3
経年変化による軽微な変状は見られるが構造上の支障はないと考えられる。
・施設機械設備（排水機、除塵設備）… S-3（ﾃﾞｨｰｾﾞﾙ機関）…S-4
経年変化による変状が一部の機器に見られるが排水機場機能としての支障はないと考えられる。
・電気機器 … S-2
電気機器については、標準耐用年数を超過しており、修理部品の陳腐化等が懸念される。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・電気設備 … 標準耐用年数を超過していることから保守対応限界を確認し対応を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・電気設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,500千円/年（別）
<table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>←→
施設機械
整備
39,200
千円</td><td></td><td></td><td>←→
制御盤整備
1,000千円</td><td></td><td>←→
建屋土木
補修
3,000千円</td><td>←→
制御盤整備
1,000千円</td><td>←→
空気圧縮機
更新
1,300千円</td><td></td><td>←→
制御盤整備
1,000千円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ：3,000千円/式
・施設機械設備 …… 主ポンプ2台整備費 ： 6,500千円/式、2号エンジン整備費 ： 8,000千円/式、
自家発整備 ： 3,500千円/式、水中ポンプ更新費 ： 1,100千円/式、
2号空気圧縮機更新費 ： 1,300千円/式、真空ポンプ更新費 ： 6,00千円/式、
制御盤整備費 ： 1,000x4=4,000千円/式、除塵機整備費 ： 8,200千円/式、
ゲート盤更新費 ： 9,000千円/式、1号空気圧縮機更新費 ：1,300千円/式
年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績）
【10年間に要する対策費用：61,500千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回)
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間　の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="2">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td>豊廼排水機場</td><td>着工
1994</td><td>完成
2007</td><td>ha
125</td><td>県営湛水防除事業
大里南部地区</td><td>熊谷市</td><td>2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td></td><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋： RC造1床式
吸水槽・吐水槽・樋門・樋管： RC造
ポンプ設備： 立軸斜流ポンプ 600㎜x1台、1200㎜x2台
原動機：59kwx1台、191kwx2台
樋管ゲート： B6000㎜xH2180㎜x1基
除塵機： B1800㎜xH5200㎜x1基、B3600㎜xH5200㎜x2基</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後12年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・補機等耐用年数の少ない機器については適切に更新等を実施している。
・H24年度 1号エンジン点検整備済。
・H27年度 樋門ゲートのローラー及び除塵機のベルトコンベア補修済（適正化事業）。
・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な劣化が見られる。ただし、電気室床面にひび割れが
見られ下部の送水路に達しているか調査が必要。
・施設機械設備 …エンジンの補機に空気漏れが生じている。2,3号エンジン始動不良となっている。
ゲート開度計動作不良。
・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められる。原動機のリミトルクが不良。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・電気設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：15年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
・建屋、土木施設 … S-3 構造的に影響の無い軽微な変状のため機能上の支障はないと考えられる。
・施設機械設備 …排水機、電気設備…S-3 適切に整備、交換等を実施している。
ディーゼル機関…S-1 2,3号エンジンの整備が必要
・除塵設備 … S-1 原動機のリミトルクの整備が必要。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次
点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し予防保全的な整備補修を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・電気設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,500千円/年（別）</td></tr>
<tr><td colspan="6"><table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>←→
施設機械
整備
1,000千円</td><td>←→
遊水池
浚渫
600千円</td><td>←→
施設機械
整備
75,230
千円</td><td></td><td>←→
建屋土木
補修
500千円</td><td></td><td>←→
空気圧縮機
更新
1,300千円</td><td>←→
1号エンジン
整備
8,000千円</td><td></td><td></td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 500千円/式
・施設機械設備 …… エンジン、補機点検整備、除塵機原動機点検整備 1000千円/式
主ポンプ3台整備費 42,730千円/式、2、3号エンジン整備費 16,000千円/式
水中ポンプ更新費 3,500千円/式
除塵機整備 2,000千円/式、ゲート整備費 11,000千円/式
空気圧縮機更新 1,300千円/式、1号エンジン整備費 8,000千円/式
・その他 …… 遊水池浚渫 600千円　年次点検費 ：15,000千円/10年（他実績）
【10年間に要する対策費用：101,630千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。(年12回)
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
施設機械設備 … ポンプ・エンジン・除塵機・操作システム（簡易計測）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間 の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">妻沼小島
排水機場</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営畑地帯農地整備事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
（R3年～R12年）</td></tr>
<tr><td>2003</td><td>2007</td><td>49.0</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">建屋： SRC造1床式
吸水槽・吐水槽・樋門・樋管： RC造
ポンプ設備：横軸斜流ポンプ 600㎜x2台
原動機： 電動機 37kwx2台
逆止ゲート： B1700㎜xH1400㎜x1基　吐出水槽ゲート： B1700㎜xH1400㎜x1基
除塵機： W1800㎜x2基</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後12年が経過
・毎年巡回点検を行い、その結果により軽微な補修等を実施している。
・補機等耐用年数の少ない機器については適切に対応されている。
・定期点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 構造的に影響の無い軽微な変状のみである。
・施設機械設備 …適切に点検整備が実施されている。
・除塵設備 … 局所的に塗装剥げや発錆が認められるが、機能に影響の無い軽微な変状のみである。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 経年変化による。 参考）標準耐用年数：45年
・施設機械設備、除塵設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：20年
・電気設備 … 経年変化による。参考）標準耐用年数：15年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
・建屋、土木施設 … S-2　軽微なひび割れが見られるため、対策を検討する必要が考えられる。
・施設機械設備 …排水機　S-3、電気設備　S-4、
経年変化による変状が一部の機器に見られるので対策を検討する必要が考えられる。
・除塵設備 … S-3　局所的に塗装剥げや発錆が認められるので対策を検討する必要がある。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。
・施設機械設備及び除塵設備 … 標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き年次
点検を実施し、施設機能の重要度を考慮し予防保全的な整備補修を検討する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 土木構造物は、 ひび割れや沈下等を進行させない。
・施設機械設備、除塵設備 … 地域の防災機能を担う施設として、機器の標準耐用年数を考慮した
保守管理を行う。
・電気設備 … 保守対応限界を超過させない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 … 塗装やひび割れ等の補修を行って機能回復を図る。
・施設機械設備、除塵設備 … 各機械設備の部品交換及び定期整備を計画的に行い機能を維持する。
また日常の巡回点検結果を有効に活用して設備の信頼性を保つ。
※ 年次点検1,000千円/年（別）
R3（2021）：塵芥処理 300千円
R4（2022）：
R5（2023）：施設機械整備 9,900千円
R6（2024）：
R7（2025）：建屋土木補修 500千円
R8（2026）：
R9（2027）：塵芥処理 300千円
R10（2028）：
R11（2029）：
R12（2030）：</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・建屋、土木施設 …　ひび割れ、壁屋根補修塗装費等 ： 500千円/式
・施設機械設備 …… 主ポンプ2台整備費 ： 3,500千円/式、主電動機整備費 ： 800千円/式
水中ポンプ更新費 ： 600千円/式、除塵機整備 ： 1,000千円/式
ゲート整備費 ： 4,000千円/式
・その他 …… 塵芥処理費 ： 600千円/2回　年次点検費 ：10,000千円/10年（他実績）
【10年間に要する対策費用：21,000千円】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・定点を以下の通り設定し、年次点検及び試運転を行い変状を把握する。（年8回）
建屋、土木施設 … 構造物外壁、基礎地盤（目視）
施設機械設備 … ポンプ・電動機・除塵機・操作システム（簡易計測）
・点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状がない場合においては、検討期間　の半分である5年後（令和7年度）に見直しを行う。</td></tr>
</table>

3　調節池

様式

個別施設概要書･個別施設計画

施設現況	施設名称	施設管理者	計画期間
	調節池	熊谷市	2020年～2029年 (令和2年～11年)
	構造等 規格･規模	**･新奈良川第１調節池　A=4.0ha　V=48,500㎥　横越流方式** **･新奈良川第２調節池　A=5.0ha　V=98,000㎥　横越流方式** **･新奈良川第３調節池　A=9.0ha　V=158,000㎥　横越流方式**	
機能診断調査	文献等の調査	(経過年数やこれまでの補修履歴、日常管理の内容等を記載する。) ･隔週での定期パトロールを実施している。 ･市民等からの連絡により、その都度、現場確認を実施している。 ･第2、第３調節池については、メガソーラー発電事業において借地している事業者が維持管理を実施している。 ･第１調節池の除草については、管理業務委託を実施している。 ･軽微な損傷については、その都度、補修を行っている。	
	現地の調査	(目視調査、ひび割れ調査等の内容及び結果を記載する。) ･天端コンクリートの段差が見られる。 ･防護柵の傾きが見られる。	
機能診断評価	劣化の要因	(劣化が認められる箇所について、どのような要因が考えられるか推測する。) ･天端コンクリートの段差については、経年変化によるものと考えられる。 ･防護柵の傾きについては、暴風や自然沈下によるものと考えられる。	
	健全度の評価	(診断箇所毎に、評価結果を記載する。)　評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査 ･経年変化による軽微な変状は見られるものの機能上の支障はないが、このまま放置するを続けると、機能に支障が出ることが考えられる。…S3	
保全対策の方針	基本方針	･目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。	
	管理水準	･ひび割れやずれ、沈下を進行させない。 ･貯留能力を低下させない。	
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	(対策を選定した理由についても記載する。) ･維持管理業務 　限られた予算の中で、計画的に除草を実施する。借地している箇所については、計画的に除草を実施させる。 　安全対策のため、借地者側が防護柵を設置しているため、機能に支障をきたさないよう補修を実施させる。	
	対策費用	(対策費用を工種別に記載する。計画期間内に要する対策費用の合計についても記載する。) ･維持管理費：除草　1式　160,000千円 (準用河川の維持管理費含む) ⇒毎年の10年分 ･修繕費:その他修繕費　1式　21,000千円 (準用河川の補修費含む) ⇒毎年の10年分 【10年間に要する対策費用：　181,000千円】	
	今後の監視計画	(今後、監視を行う定点、監視の頻度、本計画の見直し時期について記載する。) ･今後も、隔週での定期パトロールを実施し、変状を把握する。 ･市民からの連絡により、その都度、現地確認を実施する。 ･今後、点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。	

令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修	除草 補修

4　排水路等

様式

個別施設概要書･個別施設計画

施設現況	施設名称	施設管理者	計画期間
	農業用を除く排水路	熊谷市	2020年～2029年 (令和2年～11年)
	構造等 規格･規模	排水路 ： コンクリート三面 コンクリート柵渠 素掘り	
機能診断調査	文献等の調査	(経過年数やこれまでの補修履歴、日常管理の内容等を記載する。) ･毎週一度、その都度選定した箇所の定期パトロールを実施している。 ･市民等からの連絡により、その都度、現場確認を実施している。 ･除草、浚渫については、原則地先管理をお願いしている。地先管理が難しい箇所については、必要に応じて職員による作業及び管理業務委託を実施している。 ･軽微な損傷については、その都度、補修を行っている。 ･未整備水路については、地元からの陳情、要望により、計画的に整備を実施している。	
	現地の調査	(目視調査、ひび割れ調査等の内容及び結果を記載する。) ･目地の劣化が見られる。　･柵渠板のずれが見られる。 ･ひび割れが見られる。　･雑草及び雑木の繁茂が見られる。 ･汚泥の堆積が見られる。 【管理水路の一部抜粋】	
機能診断評価	劣化の要因	(劣化が認められる箇所について、どのような要因が考えられるか推測する。) ･目地、ひび割れについては、経年変化によるものと考えられる。 ･柵渠板のずれについては、埋め戻しの不良及び自然沈下によるものと考えられる。	
	健全度の評価	(診断箇所毎に、評価結果を記載する。)　評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査 ･経年変化による軽微な変状は見られるものの機能上の支障はないが、このまま放置を続けると、機能に支障が出ることが考えられる。…S3	
保全対策の方針	基本方針	･目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。	
	管理水準	･ひび割れやずれ、沈下を進行させない。 ･流下に支障をきたさない。	
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	(対策を選定した理由についても記載する。) ･維持管理業務 除草の維持管理費軽減を図るため、恒久的な対策として、防草コンクリートの設置を行う。 流下に支障をきたさないよう、計画的に浚渫を実施する。 ･未整備水路改修 陳情、要望箇所について、計画的に整備を実施する。	

令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫	除草･浚渫
補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修
整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備	整備

	対策費用	(対策費用を工種別に記載する。計画期間内に要する対策費用の合計についても記載する。) ･維持管理費 ： 除草･浚渫　1式　200，000千円 (調整池の維持管理費含む) ⇒毎年の10年分 補修　1式　100，000千円 (調整池の補修費含む) ⇒毎年の10年分 ･整備費 ： 排水路整備　1式　750，000千円⇒毎年の10年分 【10年間に要する対策費用： 1，050，000千円】
	今後の監視計画	(今後、監視を行う定点、監視の頻度、本計画の見直し時期について記載する。) ･今後も、毎週一度定期パトロールを実施し、変状を把握する。 ･市民からの連絡により、その都度、現地確認を実施する。 ･水路整備を実施することで、今後の維持管理費が縮減出来る箇所について調査を実施し、計画に反映させる。 ･今後、点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。

様式 （農業水利施設）

個別施設概要書･個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="2">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td>男沼排水路</td><td>着工
S48</td><td>完成
S55</td><td>ha
488.0</td><td>県営かんがい排水事業</td><td>熊谷市</td><td>2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td></td><td>構造等
規格･規模</td><td colspan="6">コンクリートブロック積水路　L=3556.8m
コンクリートブロック張水路　L=1480.8m
ボックスカルバート　L=41.0m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">･熊谷市では土砂浚い、ゴミ揚げを年1回実施している。
･地元維持管理組合（男沼門樋排水組合）では清掃･除草作業を年1回実施している。
･軽微な損傷については、その都度、市単で補修を行っている。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">･男沼排水機場を経て一級河川利根川に排出している。
故に、男沼排水機場の適切な機能維持に依存。
･総じて整備済みで概ね健全な状態だが、局部的にブロックのズレ、目地の開き、土砂の堆積等が
見られた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">･水路本体･･･造成から40年経過しており経年変化による要因。
参考標準耐用年数　40年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査
【水路本体：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ】：局部的にブロックのズレ、目地の開き及び土砂の堆積等が
認められる。･･･S3
【周辺地盤】：局部的背面土砂の沈下が認められる。･･･S3
【付帯施設】：男沼排水路に落とす構造物の亀裂が認められる。･･･S3
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はないが造成から経過年数が
40年経過している。･･･S2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">･地元維持管理組合（男沼門樋排水組合）で清掃･除草作業を行い、水路の改変を目視
により監視している。又、改変している場合は、その都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能
の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。
<table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr>
</table>
･年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合その都度、市単で
補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">･県営基幹水利施設ストックマネジメント事業のH6～H10の更新で、L＝3097.2mの
工事を行っている。又、残りの部分については、軽微な損傷のため、その都度市単で
補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">･施設全体としては、清掃･除草作業時に目視により点検する。
･施設の経年変化による周辺環境への影響度を考慮し、県営基幹水利施設ストック
マネジメント事業で更新した以外を重点的にモニタリングし、地盤変化の進行を管理する
ものとする。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">奈良川排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営かんがい排水事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>S52</td><td>H9</td><td>592.0</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">コンクリートブロック積水路　L=4,826.0m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・熊谷市では土砂浚い、ゴミ揚げを年1回実施している。
・地元維持管理組合（奈良広域協定組織等）では清掃・除草作業を年1回実施している。
・軽微な損傷については、その都度、市単で補修を行っている。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・奈良川排水機場を経て一級河川福川に排出している。
故に、奈良川排水機場の適切な機能維持に依存。
・総じて整備済みで概ね健全な状態だが、土砂の堆積、護岸部の崩落、ブロックのはらみ
等が見られた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・水路本体・・・・造成から40年経過しており経年変化による要因。
参考標準耐用年数　40年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
【水路本体：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ】：局部的にブロックのズレ、目地の開き及び土砂の堆積等が
認められる。・・・S3
【周辺地盤】：局部的だが護岸の法崩れ等が認められる。・・・S3
【付帯施設】：樋管構造物に局所的な亀裂が認められる。・・・S3
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はないが造成から経過年数が
30年以上経過している。・・・S2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・地元維持管理組合（奈良広域協定組織等）で清掃・除草作業を行い、水路の改変を目視
により監視している。又、改変している場合は、その都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td rowspan="2">対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能
の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。</td></tr>
<tr><td colspan="6">R3(2021) 除草 | R4(2022) 除草 | R5(2023) 除草 | R6(2024) 除草 | R7(2025) 除草 | R8(2026) 除草 | R9(2027) 除草 | R10(2028) 除草 | R11(2029) 除草 | R12(2030) 除草
・年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合その都度、市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・維持管理費：除草　1式　28,000千円　⇒毎年の10年分
・現状施設においては概ね健全な状態を維持しているが、局所的な損傷等は必要に応じ
てその都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td></td><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・施設全体としては、清掃・除草作業時に目視により点検する。
・周辺環境への影響度を考慮し、溢水等が起こった際、特に第三者へ事故を誘因しかねな
い主要道との交差区間等を重点的にモニタリングし、施設の構造変化等を管理していく
ものとする。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">さすなべ排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営かんがい排水事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>S52</td><td>H12</td><td>442.0</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">コンクリートブロック積　L＝5,882.26m、
コンクリートブロック張　L＝154.6m
B形柵渠　L＝2,321.0m、魚巣ブロック　L＝20.0m、
自然石型　L＝18.0m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・熊谷市では土砂浚い、ゴミ揚げを年1回実施している。
・地元維持管理組合（奈良広域協定組織、熊谷市中条地域農地・水・環境保全管理協定組織等）では清掃・除草作業を年1回実施している。
・軽微な損傷については、その都度、市単で補修を行っている。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・さすなべ排水機場を経て一級河川福川に排出している。
故に、さすなべ排水機場の適切な機能維持に依存。
・総じて整備済みで概ね健全な状態だが、局所的に土砂の堆積、背面土の陥没、落下防止柵の傾き等が見られた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・水路本体・・・・造成から30年以上経過しており経年変化による要因。
参考標準耐用年数　30～40年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
【水路本体：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ】：局部的にブロックのズレ、目地の開き及び土砂の堆積等が認められる。・・・S3
【周辺地盤】：局部的だが柵渠水路の背面土の陥没等が認められる。・・・S3
【安全施設】：局所的に傾き等が認められる。・・・S3
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はないが造成から経過年数が30年以上経過している。・・・S2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・地元維持管理組合（奈良広域協定組織、熊谷市中条地域農地・水・環境保全管理協定組織等）で清掃・除草作業を行い、水路の改変を目視により監視していいる。又、改変している場合は、その都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td rowspan="2">対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。</td></tr>
<tr><td colspan="6">R3(2021)　R4(2022)　R5(2023)　R6(2024)　R7(2025)　R8(2026)　R9(2027)　R10(2028)　R11(2029)　R12(2030)
←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草　←→除草
・年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合その都度、市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・維持管理費：除草　1式　50,000千円　⇒毎年の10年分
・現状施設においては概ね健全な状態を維持しているが、局所的な損傷等は必要に応じてその都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・施設全体としては、清掃・除草作業時に目視により点検する。
・周辺環境への影響度を考慮し、溢水等が起こった際、特に第三者へ事故を誘因しかねない主要道との交差区間等を重点的にモニタリングし、施設の構造変化等を管理していくものとする。</td></tr>
</table>

様式 （農業水利施設）

個別施設概要書･個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>流域面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">道閑堀排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>km2</td><td rowspan="2">県営かんがい排水事業
道閑堀地区</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>S60</td><td>H4</td><td>4.9</td></tr>
<tr><td>構造等
規格･規模</td><td colspan="7">ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ張水路　L=2424m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="7">･供用開始後約30年が経過
･熊谷市では年2回除草を実施している。
･軽微な損傷については、その都度、市単で補修を行っている。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="7">･道閑堀排水機場を経て一級河川福川に排出している。
故に、道閑堀排水機場の適切な機能維持に依存。
･総じて整備済みで概ね健全な状態だが、安全施設に変形が見られた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="7">･水路付帯施設･･･造成から約30年経過しており、安全施設の基礎地盤の経年変化による要因。</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="7">評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査
【水路本体:ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸ】:土砂の堆積等が認められる。･･･S3
【付帯施設】:安全施設に変形が認められる。･･･S2
【事故歴等】:漏水等の事故による影響はない･･･S4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="7">･地元で清掃･除草作業を行い、水路の改変を目視
により監視している。又、改変している場合は、その都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="7">【水路構造物】:溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】:水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="7">【水路構造物】:県営基幹水利施設ｽﾄｯｸﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ事業にて水路構造の安定化と機能
の維持回復を図る。
【安全施設】:水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。
<table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td><td>←→
除草</td></tr>
</table>
･年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合その都度、市単で
補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="7">･維持管理費:除草　1式　43,000千円　⇒毎年の10年分

･現状施設においては概ね健全な状態を維持しているが、局所的な損傷等は必要に応じ
てその都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="7">･施設全体としては、除草作業時に目視により点検する。
･施設の経年変化による周辺環境への影響度を考慮し、県営基幹水利施設ｽﾄｯｸ
マネジメント事業で更新した以外を重点的にモニタリングし、地盤変化の進行を管理する
ものとする。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">秦地区幹線
第一種排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">県営畑地帯総合土地改良事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>S62</td><td>H4</td><td>201.3</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">柵渠（底張なし） B=3.0m、H=1.2m、延長323m
付帯構造物 暗渠工 N＝1
計画排水量 4.325m3/s、V=0.835m/s、I=1/1500</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・多面的組織の秦地域資源保全会が除草作業を実施している。
・供用開始後約30年経過しているため、軽微な損傷については、市で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・秦幹線は、道閑堀排水機場を経て一級河川福川、利根川に排出している。
故に、道閑堀排水機場の適切な機能維持に依存。
・総じて整備済みで概ね健全な状態だが、柵渠の底面が局部的侵食が見られた。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・水路本体・・・・造成から30年経過しており経年変化による要因。
参考標準耐用年数 20～40年</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠 ・簡易評価 ・機能診断調査
【水路本体：ｺﾝｸﾘｰﾄ柵渠】：局部的に水路底の洗堀及び土砂の堆積等が
認められる。・・・S3
【周辺地盤】：法面の崩れ、沈下及び背面土の空洞化、沈下は、見られない。・・・S4
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はないが造成から経過年数が
30年経過している。・・・S2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・地元の多面的組織秦地域資源保全会が除草作業を行い、水路の改変を目視
により監視している。又、改変している場合は、その都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能保全対策</td><td rowspan="3">対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能
の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。</td></tr>
<tr><td colspan="6"><table><tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr><tr><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td><td>－</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="6">・年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合その都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・地元の多面的組織秦地域資源保全会が除草作業を実施し、軽微な損傷は、その都度
市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・施設全体としては、除草作業時に目視により点検する。
・施設の経年変化による周辺環境への影響度を考慮し、除草作業時等終了後モニタリング
して地盤変化の進行を管理するものとする。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>流域面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">豊廼1号排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>km2</td><td rowspan="2">県営湛水防除事業
大里南部地区</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>1997</td><td>2007</td><td>1.25</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">B型柵渠 B=1.2～5.0m×H=0.9～1.5m L= 1,341.4m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="6">・供用開始後、約13年が経過</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="6">・豊廼排水機場を経て一級河川荒川に排水している。
・柵渠本体に異常はなく、軟弱地盤や地下水の変動に起因する不同沈下も見られない。
・局所的に土砂の堆積及び背面土の浸食が生じているが概ね健全な状態である。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="6">・供用開始後時間が経過しているため、土砂の堆積等が認められる。</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="6">評価根拠 ・簡易評価 ・機能診断調査
【水路本体：柵渠水路】：土砂の堆積等が認められる。 ・・・ S3
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はない。 ・・・ S4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="6">・定期の除草作業及び泥上げ後、水路の改変を目視により監視し、改変を確認した時点でその都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="6">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能保全対策</td><td rowspan="3">対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="6">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。</td></tr>
<tr><td colspan="6"><table><tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr><tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr></table></td></tr>
<tr><td colspan="6">・年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合は、その都度、市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="6">・現状施設の状態は軽微な損傷のため、その都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="6">・施設全体としては、除草作業時に目視により点検する。
・施設の経年変化による周辺環境への影響度を考慮し、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業で更新した以外を重点的にモニタリングし、地盤変化の進行を管理するものとする。</td></tr>
</table>

様式（農業水利施設）

個別施設概要書・個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>流域面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">豊廼2号排水路</td><td>着工</td><td>完成</td><td>km2</td><td rowspan="2">県営湛水防除事業
大里南部地区</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>1997</td><td>2007</td><td>1.25</td></tr>
<tr><td>構造等
規格・規模</td><td colspan="6">B型柵渠 B=1.4～2.0m×H=1.5m　L= 1,787.6m</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="7">・供用開始後、約13年が経過</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="7">・豊廼排水機場を経て一級河川荒川に排水している。
・柵渠本体に異常はなく、軟弱地盤や地下水の変動に起因する不同沈下も見られない。
・局所的に土砂の堆積及び背面土の浸食が生じているが概ね健全な状態である。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="7">・供用開始後時間が経過しているため、土砂の堆積等が認められる。</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="7">評価根拠　・簡易評価　・機能診断調査
【水路本体：柵渠水路】：土砂の堆積等が認められる。 ・・・ S3
【事故歴等】：漏水等の事故による影響はない。 ・・・ S4</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="7">・定期の除草作業及び泥上げ後、水路の改変を目視により監視し、改変を確認した時点でその都度補修する。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="7">【水路構造物】：溢水事故の発生回数が顕著に増加しない。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、水路への落下事故を未然に防ぐ。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">機能保全対策</td><td rowspan="3">対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="7">【水路構造物】：県営基幹水利施設ストックマネジメント事業にて水路構造の安定化と機能の維持回復を図る。
【安全施設】：水路周辺の学校等と協議し、危険箇所から随時落下防止柵等を設置する。</td></tr>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="7">・年間の決まった補修費は無いが、軽微な損傷があった場合は、その都度、市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="7">・現状施設の状態は軽微な損傷のため、その都度市単で補修を行う。</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="7">・施設全体としては、年2回の除草作業時に、排水路全体を目視により点検する。
・施設の経年変化による周辺環境への影響度を考慮し、県営基幹水利施設ストックマネジメント事業で更新した以外を重点的にモニタリングし、地盤変化の進行を管理するものとする。</td></tr>
</table>

様式 （農業水利施設）

個別施設概要書･個別施設計画

<table>
<tr><td rowspan="3">施設現況</td><td>施設名称</td><td colspan="2">造成工期</td><td>受益面積</td><td>造成事業</td><td>施設管理者</td><td>計画期間</td></tr>
<tr><td rowspan="2">真栄堰</td><td>着工</td><td>完成</td><td>ha</td><td rowspan="2">団体営事業</td><td rowspan="2">熊谷市</td><td rowspan="2">2021年～2030年
(R3年～R12年)</td></tr>
<tr><td>不明</td><td>1980</td><td>18.0</td></tr>
<tr><td>構造等
規格･規模</td><td colspan="6">ﾗﾊﾞｰｹﾞｰﾄ 堤長17.0m　堤高2.8m
取水施設　ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ　高1.65m　幅1.57m　1門</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断調査</td><td>文献等の調査</td><td colspan="7">･供用開始から39年経過
･定期的に診断を行い、その結果により補修等を実施している。
(平成21年度に維持管理適正化事業にてﾗﾊﾞｰ本体の補修等)
･定期的に点検を実施し、設備の保守管理に有効活用している。</td></tr>
<tr><td>現地の調査</td><td colspan="7">･ｹﾞｰﾄ施設･･･袋体に若干の土砂の堆積が見られる。
コンプレッサーや動力機器に局所的に錆が見られる。
建屋周辺に転落防護柵が無い。
･建屋･土木施設･･･建屋庇や外壁に局所的にｸﾗｯｸが見られる。窓に破損が見られる。
･電気設備･･･異常は見られない。
･取水施設･･･開閉装置や手摺に局所的に錆が見られる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">機能診断評価</td><td>劣化の要因</td><td colspan="7">･ｹﾞｰﾄ施設･･･経年変化による。(標準耐用年数30年)
･建屋･土木施設･･･経年変化による。(標準耐用年数35年)
･取水施設･･･経年変化による。(標準耐用年数30年)</td></tr>
<tr><td>健全度の評価</td><td colspan="7">評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査
･ｹﾞｰﾄ施設･･･S-3
堰本体に経年変化による軽微な変状は見られるが、構造上の支障はないと思われる。
建屋周りに転落防護柵が無いので、管理･点検時に注意が必要である。
･建屋･土木施設･取水施設･･･S-3
経年変化による変状は見られるが、構造上の支障はないと思われる。
･電気設備･･･S-4
平成22年度に機側操作盤が更新されており、問題はないと思われる。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">保全対策の方針</td><td>基本方針</td><td colspan="7">･ｹﾞｰﾄ施設･電気施設･･･標準耐用年数を参考に更新事業を行うことを想定しつつ、引き続き定期点検を実施し施設機能の重要度を考慮し予防保全的な整備補修を検討する。
取水施設
･建屋･土木施設･･･目視調査を行い変状部に進行があれば適宜修繕を行う。</td></tr>
<tr><td>管理水準</td><td colspan="7">･ｹﾞｰﾄ施設･電気施設･取水施設･･･作動不良が頻発しない。
･建屋･土木施設･･･ひび割れ等が進行しない。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">機能保全対策</td><td>対策工法
及び
対策時期</td><td colspan="7">**･ゲート施設･･･耐用年数を越えているので袋体の更新を行う。その後定期的に点検を行い、傷･剝**れ等の補修を計画的に行って機能を維持する。
･建屋･土木施設･･･塗装やひび割れ等の補修を行って機能を維持する。
･電気設備･･･消耗品や主要部品の交換を行い機能を維持する。
･取水施設･･･扉体の整備補修や補修塗装を行って機能を維持する。
<table>
<tr><td>R3
(2021)</td><td>R4
(2022)</td><td>R5
(2023)</td><td>R6
(2024)</td><td>R7
(2025)</td><td>R8
(2026)</td><td>R9
(2027)</td><td>R10
(2028)</td><td>R11
(2029)</td><td>R12
(2030)</td></tr>
<tr><td>ｹﾞｰﾄ施設
(袋体)更新
50,000千円</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>電気設備
(制御盤)
更新
2,000千円</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>対策費用</td><td colspan="7">･ゲート施設･･･袋体の整備補修費:8,000千円/式(他実績)→未計上(適宜)
袋体の更新費:50,000千円/式(ﾒｰｶｰ聞き取り)→造成から30年後
･建屋･土木施設･･･建屋補修:4,000千円/式(他実績)→未計上(適宜)
･取水施設･･･管理橋･ｽｸﾘｰﾝ･ｽﾗｲﾄﾞｹﾞｰﾄ補修塗装費:4,300千円/式(他実績)→未計上(適宜)
扉体整備補修費:4,400千円/式(他実績)→未計上(適宜)
･電気設備･･･制御盤更新費:1,300千円/式(他実績)→前回から20年後
制御盤部品交換→未計上(適宜) 【10年間に要する対策費用:52,000千円(未計上含まず)】</td></tr>
<tr><td>今後の監視計画</td><td colspan="7">･定点を以下に設定し、年次点検を行い変状を把握する。
ｹﾞｰﾄ施設･･･袋体(目視)
建屋･土木施設･･･外壁･基礎地盤(目視)
電気設備･･･制御盤(運転状況)
取水施設･･･扉体･ｼﾘﾝﾀﾞｰ･ｽｸﾘｰﾝ(目視)、開閉器(運転状況)
･点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。
なお、変状が無い場合においては、検討機関の半部である5年後(令和7年度)に見直しを行う。</td></tr>
</table>

5　調整池

様式

個別施設概要書･個別施設計画

施設現況	施設名称	施設管理者	計画期間
	調整池	熊谷市	2020年～2029年 (令和2年～11年)
	構造等 規格･規模	･掘込式（ブロック積み擁壁、もたれ式擁壁、逆T型（L型)擁壁、重力式擁壁) ･プール式	
機能診断調査	文献等の調査	（経過年数やこれまでの補修履歴、日常管理の内容等を記載する。） ･毎週一度、その都度選定した箇所の定期パトロールを実施している。 ･市民等からの連絡により、その都度、現場確認を実施している。 ･除草、浚渫については、必要に応じて職員による作業及び管理業務委託を実施している。 ･軽微な損傷については、その都度、補修を行っている。	
	現地の調査	（目視調査、ひび割れ調査等の内容及び結果を記載する。） ･目地の劣化が見られる。 ･池内外周排水溝の破損が見られる。 ･防護柵の劣化が見られる。 【管理調整池の一部抜粋】	
機能診断評価	劣化の要因	（劣化が認められる箇所について、どのような要因が考えられるか推測する。） ･目地については、経年変化によるものと考えられる。 ･排水溝の破損については、経年劣化によるものと考えられる。 ･防護柵の劣化については、経年変化によるものと考えられる。	
	健全度の評価	（診断箇所毎に、評価結果を記載する。）　評価根拠　･簡易評価　･機能診断調査 ･経年変化による軽微な変状は見られるものの機能上の支障はないが、このまま放置を続けると、機能に支障が出ることが考えられる。…S3	
保全対策の方針	基本方針	･目視調査を行い、変状部に進行があれば適宜修繕を行う。	
	管理水準	･コンクリートのひび割れやずれ、沈下を進行させない。 ･雨水の貯留能力を低下させない。	
機能保全対策	対策工法 及び 対策時期	（対策を選定した理由についても記載する。） ･維持管理業務 限られた予算の中で、計画的に除草を実施する。 安全対策のため、計画的に防護柵の補修を実施する。 機能に支障をきたさないよう、計画的に汚泥の浚渫を実施する。	
	対策費用	（対策費用を工種別に記載する。計画期間内に要する対策費用の合計についても記載する。） ･維持管理費：除草･浚渫　1式　200，000千円（排水路の維持管理費含む） ⇒毎年の10年分 補修　1式　100，000千円（排水路の補修費含む）⇒毎年の10年分 【10年間に要する対策費用：　300，000千円】	
	今後の監視計画	（今後、監視を行う定点、監視の頻度、本計画の見直し時期について記載する。） ･今後も、毎週一度定期パトロールを実施し、変状を把握する。 ･市民からの連絡により、その都度、現地確認を実施する。 ･今後、点検結果によっては詳細診断を実施し、計画の見直しを行う。	

令和2	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7	令和8	令和9	令和10	令和11
除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草	除草
浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫	浚渫
補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修	補修

第４章　今後の対応方針

本計画は今後の公共施設マネジメントの具体的指針であることから、本計画を適切な体制の下で効果的に進めていくことが重要です。

そのため、この章では本計画の進捗管理の方法や計画の改定に関する考え方について整理するとともに、本計画を着実に実行に移していくための実施体制について整理します。さらに、対策を行っていく上で重要となる予算の考え方をどのように関連させていくかについて併せて整理します。

第１節　計画の進捗管理の方法

本計画において個別施設ごとに具体的に示された対策の取組予定と、各年度における対策の実際の進捗状況を比較・確認し、更新していくことによって、計画の適切な進捗管理を図ります。

計画策定時点において、計画期間内に具体的な対策内容や対策時期を検討中の施設（「方針検討」の施設）については、引き続き検討を進め、順次、対策内容及び対策時期を設定していきます。

また、５年おきに進捗管理結果の取りまとめを行い、令和２年度から１０年間の計画期間で新たに計画策定・進捗管理を図ることとします。具体的には、本計画の対象期間は「第１期後半」と「第２期前半」に相当する２０２０～２９（令和２～１１）年度としますが、「第１期後半」が終了する２０２４（令和６）年度を目途に、「第１期後半」の進捗管理結果の取りまとめを行うとともに、次の１０年間である「第２期前半」と「第２期後半」に相当する２０２５～３４（令和７～１６）年度の個別施設計画を策定・更新し、新たに進捗管理を行っていくこととします。

第２節　計画の改定に関する考え方

前節に記載のとおり、原則は５年おきに進捗管理結果の取りまとめを行い計画の更新を実施しますが、総合管理計画の検証や見直しとの整合性を図るため、個別施設ごとの対策の進捗状況を踏まえつつ、本計画についても取組予定を再検討する等の見直しを適宜（必要に応じて年度毎）行います。

第３節　計画の実施体制

本計画に記載している対策については、河川課が主体となって実施します。

計画の進捗状況については、毎年度、取りまとめます。

次年度以降の計画を変更、修正等する必要が生じた場合には、修正を行うものとします。

第４節　予算への反映方法

本計画に記載している対策の実施に際しては、総合振興計画をはじめとする諸計画との整合性の確保と、体系的かつ有機的に展開されるべき市の諸施策との適切な連携・調整が要請されます。また、効果的かつ効率的な公共施設マネジメントを実施していくためには、各対策に対する予算の裏付けが必要不可欠です。

これらの要請を受け、公共施設に関する実施計画策定及び予算編成の手続の概要を、次の(1)～(5)のように定めます。

(1) 河川課長は、本計画の予定に従って実施計画案を作成し、総合政策部長（企画課長）へ提出します。また、必要に応じ、財政課による特別事情の調査に回答します。
(2) 企画課が所管する実施計画の審査は、公共施設に関する案件については、企画課、財政課及び施設マネジメント課が連携しながら実施するものとします。
(3) 施設マネジメント課長は、必要に応じ、実施計画の審査において助言等を行います。財政課長は、補正予算編成も含め、必要に応じ、施設マネジメント課長の助言等を求めることができます。
(4) 公共施設に関する案件については、企画課長は、実施計画査定の結果を施設マネジメント課長に通知します。同様に、財政課長は、補正予算編成も含め、予算査定の結果（内示）を施設マネジメント課長に通知します。
(5) 本計画に記載されていない対策に関する実施計画案の提出や補正予算要求があった場合は、企画課長及び財政課長は、その旨を施設マネジメント課長に通知するものとします。

これらの手続を確実に実行することにより、本計画の実効性を確保することができます。

熊谷市個別施設計画　河川等管理施設編
令和２年３月
（令和３年３月 改定）

熊谷市建設部河川課　作成
048-524-1111（内線 355）